

2025年12月期 第2四半期業績 説明会資料



AGC株式会社

2025年8月1日

Your Dreams, Our Challenge

2025年12月期 第2四半期業績	P.5
1. 業績のポイントと主要項目	P.6
2. セグメント別の状況	P.13
2025年通期業績の見通し	P.20
経営課題への対応	P.29
1. バイオ医薬品CDMOの構造改革	P.30
2. 全体業績の状況認識と今後の取り組み	P.34
付属資料	P.41

本日のポイント① 2025年12月期第2四半期業績 (累計)

2025年12月期第2四半期業績 (累計)

	前年同期比	
売上高	9,955 億円	▲ 197 億円
営業利益	540 億円	▲ 27 億円
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	139 億円	+ 1,284 億円

増益要因

- 前年同期に発生したロシア事業の譲渡に伴う関係会社株式の売却損およびバイオ医薬品CDMOの大規模減損損失の剥落等

増収要因

- 自動車用ガラスの品種構成改善と価格政策効果
- パフォーマンスケミカルズの販売価格の上昇

減収要因

- 建築ガラスの出荷減少
- 塩化ビニル樹脂の販売価格下落
- 円高影響

増益要因

- 収益改善施策の効果発現

減益要因

- 上述の減収要因
- 原燃材料価格の上昇等

本日のポイント② 2025年12月期通期見通しの修正

2025年12月期通期見通し (修正後)

		従来予想比	前期比
売上高	20,500 億円	▲ 1,000 億円	▲ 176 億円
営業利益	1,200 億円	▲ 300 億円	▲ 58 億円
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	570 億円	▲ 230 億円	+ 1,510 億円

見通し修正の主要因

- 化学品、ライフサイエンス、電子が想定を下回る見通しとなり、売上高・営業利益を下方修正
- 上記に加え、バイオ医薬品CDMOの減損損失により当期純利益を下方修正

配当

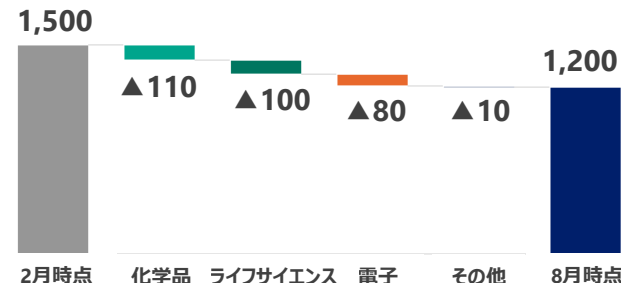
■ 変更なし

中間配当105円（確定）

期末配当105円（予想）

営業利益（見通し）

（億円）



2025年12月期 第2四半期業績

1. 業績のポイントと主要項目

2025年12月期 第2四半期業績(累計)

(億円)

		FY2024 1-2Q累計	FY2025 1-2Q累計	増減
売上高		10,152	9,955	▲ 197*
営業利益		567	540	▲ 27
税引前利益		▲ 924	338	+ 1,261
親会社の所有者に帰属する 当期純利益		▲ 1,145	139	+ 1,284
為替レート (期中平均)	1 USD	JPY 152.25	JPY 148.60	
	1 EUR	JPY 164.60	JPY 162.15	
原油 (Dubai、期中平均)	USD/BBL	83.27	71.93	

主な変動要因 (+) 増加要因 (-) 減少要因

(+) 自動車用ガラスの品種構成改善や価格政策効果
 (+) パフォーマンスケミカルズの価格上昇
 (-) 建築ガラスの出荷減少、ロシア事業譲渡に伴う減収
 (-) 塩化ビニル樹脂の販売価格下落
 (-) 円高

上記に加え、
 (+) 収益改善施策の効果発現
 (-) 原燃材料価格の上昇

上記に加え、
 (+) その他費用として前年同期に発生した、関係会社株式売却損
 (ロシア事業の譲渡)及びバイオ医薬品CDMOの大規模減損
 損失の剥落
 (-) 減損損失の計上(バイオ医薬品CDMO)
 (-) 為替差損の計上

* うち、為替差影響は▲109億円、連結範囲変更の影響は▲51億円

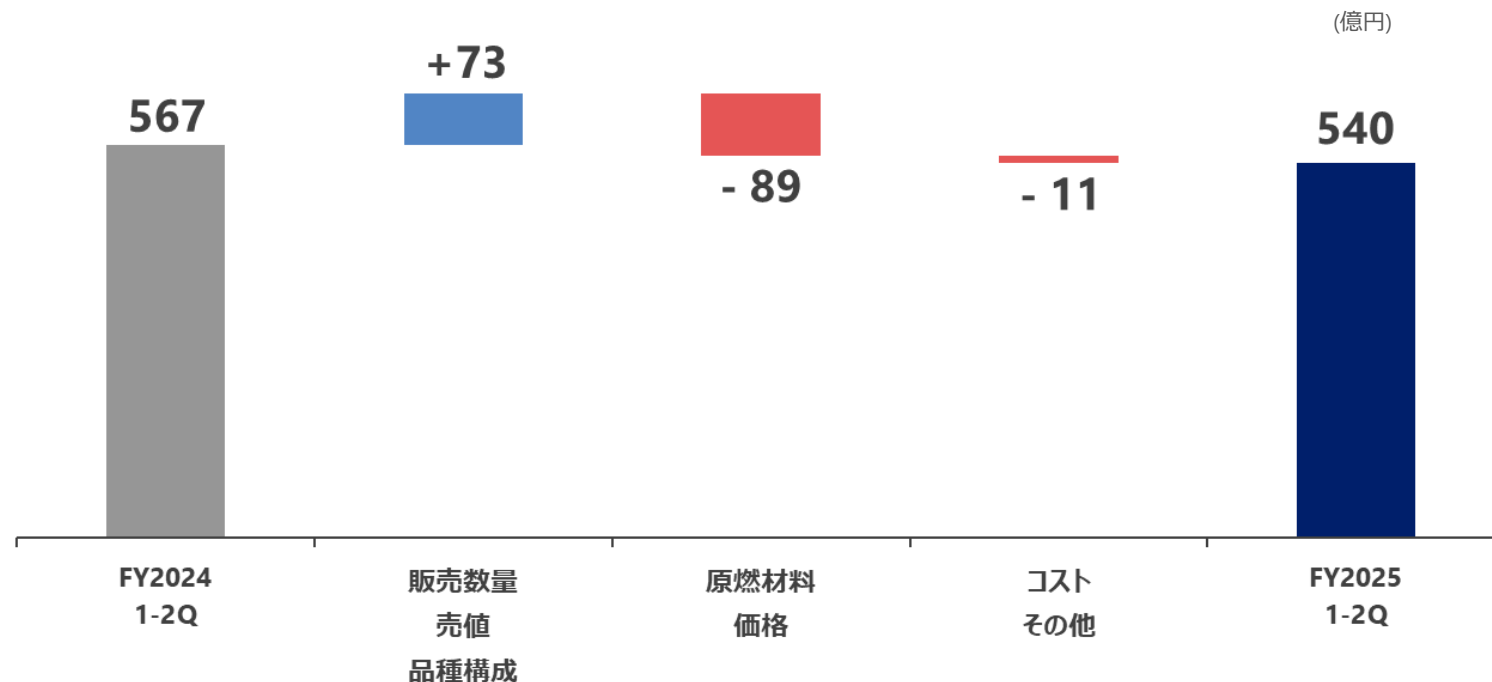
セグメント別業績 前年同期比較

(億円)

	FY2024 1-2Q累計 (a)		FY2025 1-2Q累計 (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	2,247	102	2,108	32	▲ 139	▲ 69
 オートモーティブ	2,519	106	2,557	151	+ 38	+ 46
 電子	1,693	200	1,681	244	▲ 12	+ 44
 化学品	2,904	277	2,859	225	▲ 46	▲ 51
 ライフサイエンス	636	▲ 141	635	▲ 119	▲ 1	+ 22
 セラミックス・その他	424	24	280	6	▲ 143	▲ 18
消去	▲ 271	0	▲ 166	0	+ 105	+ 0
連結合計	10,152	567	9,955	540	▲ 197	▲ 27

営業利益増減要因分析 (1-2Q FY2025 vs 1-2Q FY2024)

前年同期比 27億円減益



連結財政状態計算書

	2024/12/31	2025/6/30	(億円) 増減	
現金及び現金同等物	1,080	1,005	▲ 75	
棚卸資産	4,541	4,577	+ 35	
有形固定資産・無形資産及びのれん	16,529	16,198	▲ 332	為替差影響 ▲292億円
その他	6,746	6,270	▲ 477	
資産合計	28,897	28,049	▲ 848	為替差影響 ▲480億円
有利子負債	6,497	6,508	+ 11	
その他	5,682	5,537	▲ 145	
負債の部	12,180	12,045	▲ 134	
親会社の所有者に帰属する持分合計	14,358	13,810	▲ 548	
非支配持分	2,359	2,194	▲ 165	
資本の部	16,717	16,004	▲ 713	為替差影響 ▲535億円
負債及び資本合計	28,897	28,049	▲ 848	
D/E比率	0.39	0.41		

連結キャッシュフロー計算書

	(億円)	
	FY2024 1-2Q累計	FY2025 1-2Q累計
税引前利益	▲ 924	338
減価償却費及び償却費	915	882
運転資金増減	▲ 145	26
その他	1,575	▲ 74
営業活動によるCF	1,422	1,171
投資活動によるCF	▲ 782	▲ 877
フリーキャッシュフロー	640	294
有利子負債増減	▲ 770	▲ 57
支払配当	▲ 223	▲ 223
その他	▲ 80	▲ 58
財務活動によるCF	▲ 1,072	▲ 338
現金等に係る換算差額等	61	▲ 31
現金等の増減額	▲ 372	▲ 75

減損損失の影響

+ 1,192億円

キャッシュアウトを伴わない
関係会社売却による損失
の影響

+ 365億円

関係会社売却による
キャッシュインの影響

+ 221億円

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(億円)

	FY2024 1-2Q累計	FY2025 1-2Q累計
設備投資額	1,196	969
建築ガラス	119	139
オートモーティブ	132	154
電子	215	185
化学品	552	386
ライフサイエンス	160	90
セラミックス・その他	18	15
消去	▲ 0	▲ 0

	FY2024 1-2Q累計	FY2025 1-2Q累計
減価償却費	915	882
建築ガラス	127	127
オートモーティブ	161	157
電子	266	246
化学品	265	271
ライフサイエンス	87	74
セラミックス・その他	9	8
消去	▲ 1	▲ 1

	FY2024 1-2Q累計	FY2025 1-2Q累計
研究開発費	293	285

2025年 主な設備投資 案件

- 電子部材関連製造設備増強 (電子)
- 東南アジアクロールアルカリ能力増強 (化学品)
- フッ素関連製品能力増強 (化学品)
- バイオ医薬品CDMO能力増強 (ライフサイエンス) など

2. セグメント別の状況



	FY2024 1-2Q累計	FY2025 1-2Q累計	増減
売上高	2,247	2,108	▲ 139*
アジア	739	707	▲ 32
欧米	1,496	1,387	▲ 109
(セグメント間)	12	14	+ 2
営業利益	102	32	▲ 69

* うち、為替差影響は▲47億円、連結範囲変更の影響は▲41億円

(億円)

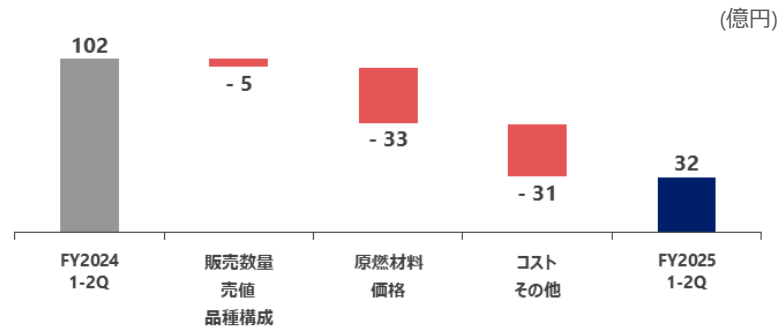
アジア

- インドネシア等での販売価格下落に加え、出荷が減少したことにより減収

欧米

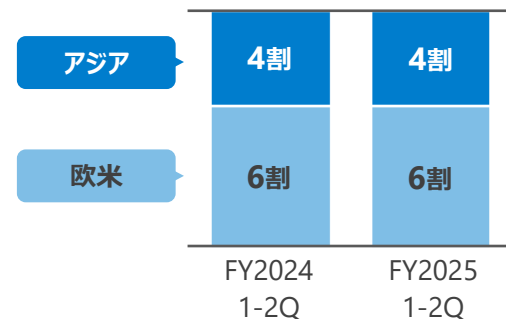
- 価格政策の効果はあったものの、欧州で出荷が減少したことに加え、ロシア事業譲渡や円高に伴う影響により減収

営業利益増減要因分析



営業利益 構成比

共通費配賦前

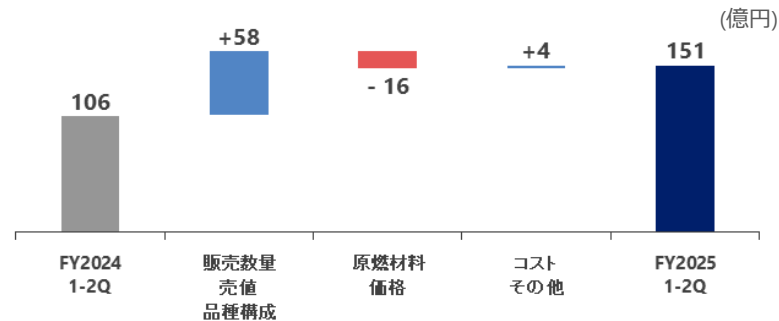


	FY2024 1-2Q累計	FY2025 1-2Q累計	増減
売上高	2,519	2,557	+ 38*
オートモーティブ	2,518	2,556	+ 38
(セグメント間)	1	1	+ 0
営業利益	106	151	+ 46

* うち、為替差影響は▲45億円、連結範囲変更の影響は▲10億円

(億円)

営業利益増減要因分析



オートモーティブ

- 出荷は欧米で減少したものの、日本では増加
- 上述に加え、品種構成の改善や価格政策の効果により増収

	FY2024 1-2Q累計	FY2025 1-2Q累計	増減
売上高	1,693	1,681	▲ 12*
ディスプレイ	901	901	▲ 0
電子部材	785	772	▲ 13
(セグメント間)	7	9	+ 2
営業利益	200	244	+ 44

* うち、為替差影響は▲5億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)



ディスプレイ

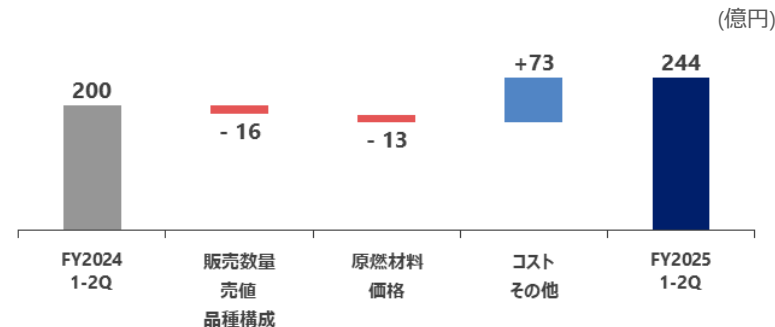
- 液晶ディスプレイ用ガラス基板の出荷は増加したもののディスプレイ用特殊ガラスの減少により、売上高は前年同期並み



電子部材

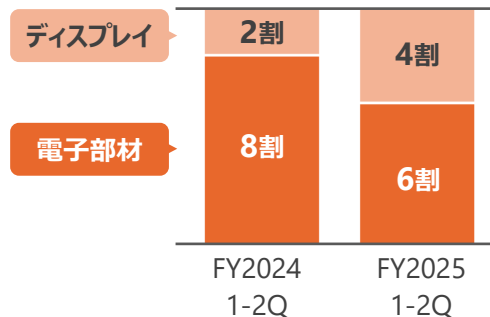
- EUV露光用フォトマスクブランクス等の半導体関連部材の出荷の減少に加え、円高の影響もあり減収

営業利益増減要因分析



営業利益 構成比

共通費配賦前



	FY2024 1-2Q累計	FY2025 1-2Q累計	増減
売上高	2,904	2,859	▲ 46*
エッセンシャルケミカルズ	2,012	1,891	▲ 121
パフォーマンスケミカルズ	874	946	+ 72
(セグメント間)	19	22	+ 3
営業利益	277	225	▲ 51

* うち、為替差影響は▲1億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

エッセンシャルケミカルズ

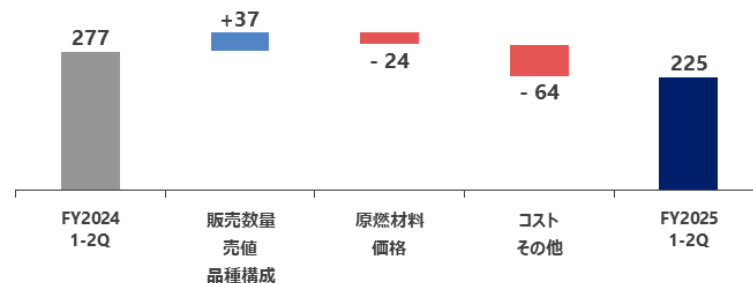
- 塩化ビニル樹脂の販売価格下落により減収

パフォーマンスケミカルズ

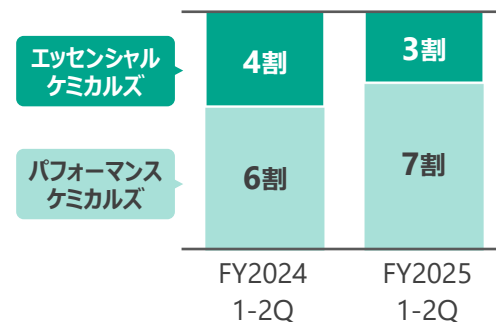
- 販売価格の上昇により増収

営業利益増減要因分析

(億円)



営業利益 構成比 共通費配賦前



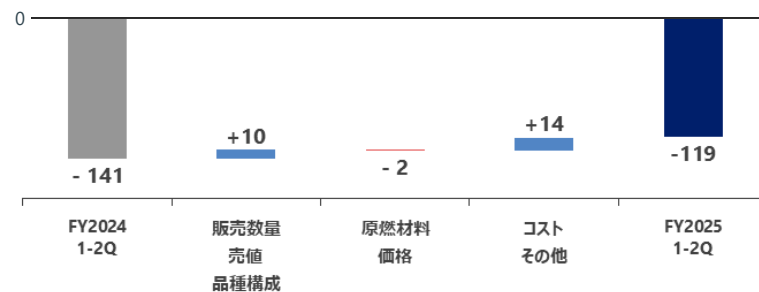
	FY2024 1-2Q累計	FY2025 1-2Q累計	増減
売上高	636	635	▲ 1*
ライフサイエンス	616	617	+ 0
(セグメント間)	20	18	▲ 1
営業利益	▲ 141	▲ 119	+ 22

* うち、為替差影響は▲9億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

営業利益増減要因分析

(億円)



ライフサイエンス

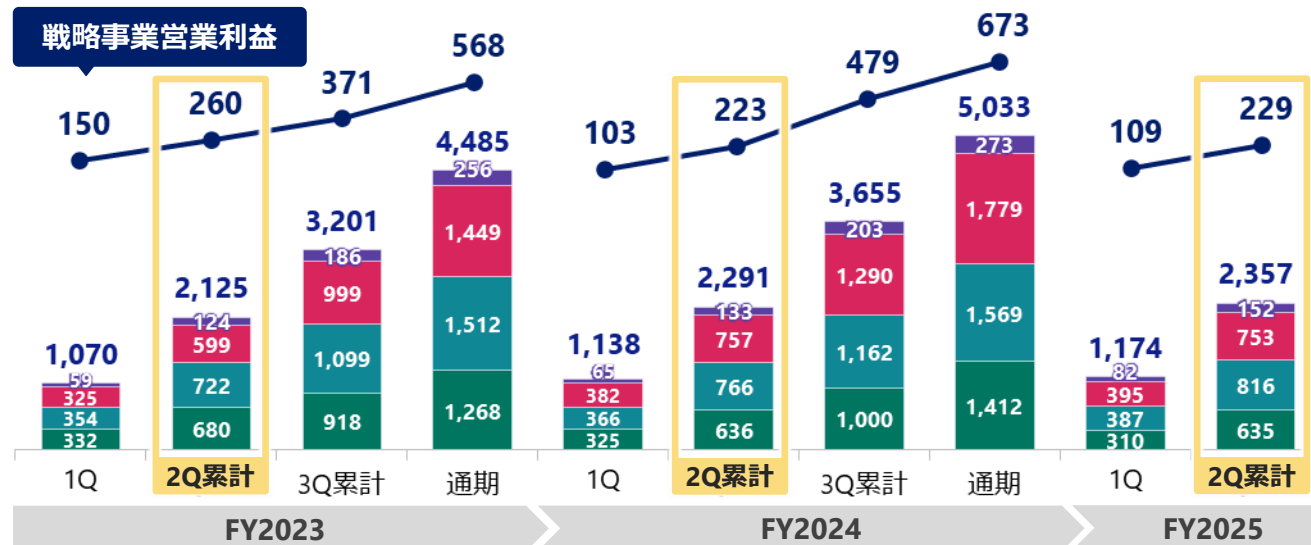
- 売上高は前年同期並み
- バイオ医薬品CDMOの増設設備稼働による出荷増があったものの、前年同期に計上していた受託案件精算に伴う一時収入の剥落に加え、ボルダー拠点で生産不具合が発生

戦略事業の業績貢献

- 売上高はパフォーマンスケミカルズとモビリティが伸長し前年同期比増収
- 営業利益はライフサイエンスの固定費削減効果が発現したものの、エレクトロニクスの一時的な出荷減速やパフォーマンスケミカルズの定期設備修繕の影響等により前年同期比微増

戦略事業売上高推移

(億円)



主な製品・事業

モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- CASE向け高付加価値品

エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材

パフォーマンスケミカルズ

- 多業界向け高性能フッ素製品

ライフサイエンス

- 合成医薬品CDMO
- バイオ医薬品CDMO

2025年通期業績の見通し

2025年 通期業績見通し

■ 化学品、ライフサイエンス、電子が想定を下回る見通しとなり下方修正

		(億円)		
		FY2024	FY2025e (8/1予想)	FY2025e (2/7予想)
売上高		20,676	20,500	21,500
	(上期)	10,152	9,955	10,500
営業利益		1,258	1,200	1,500
	(上期)	567	540	650
税引前利益		▲ 501	970	1,350
親会社の所有者に帰属する当期純利益		▲ 940	570	800
1株当たり配当 (円)		210	210	210
営業利益率		6.1%	5.9%	7.0%
ROE		▲ 6.5%	4.0% *	5.6% *
為替レート (期中平均)	1 USD	JPY 151.6	JPY 147.0	JPY 150.0
	1 EUR	JPY 164.0	JPY 163.0	JPY 160.0
原油 (Dubai、期中平均)	USD/BBL	79.6	74.0	80.0

* FY2025予想のROEは、2024年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用

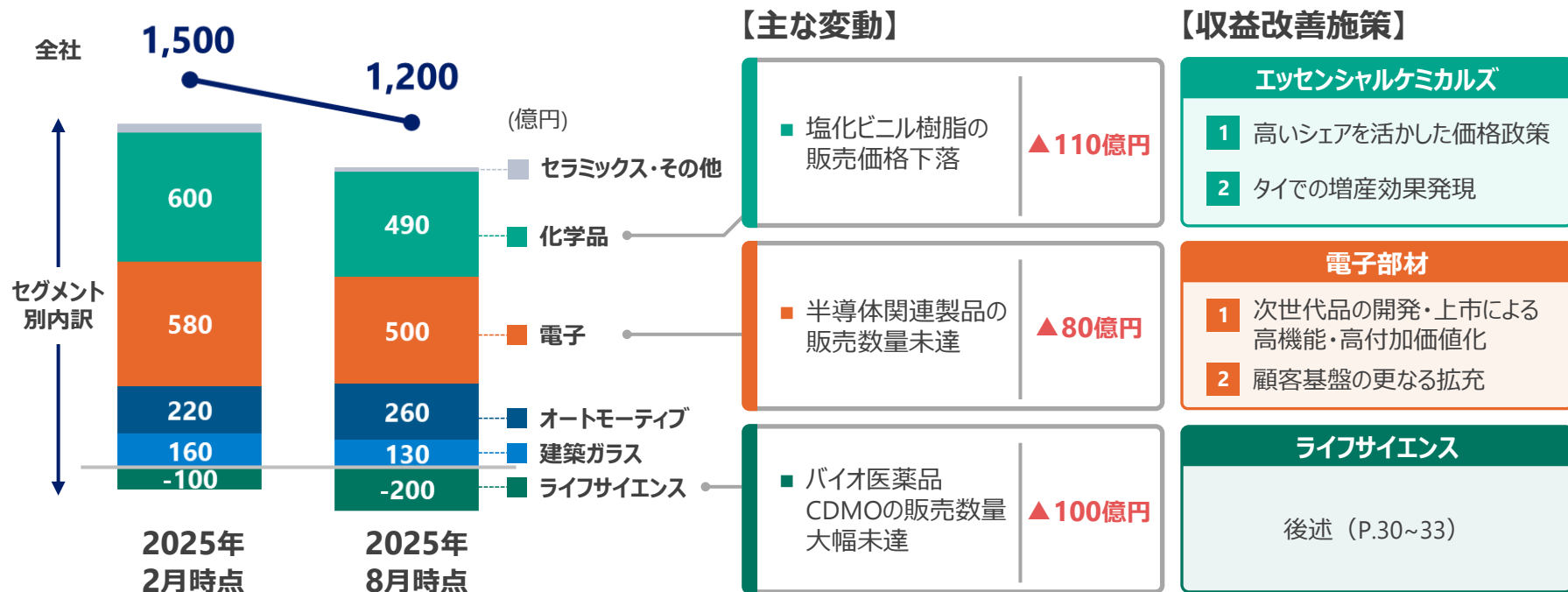
セグメント別 売上高/営業利益見通し

(億円)

	FY2024 (a)		FY2025e (b) 通期予想(8/1予想)		増減 (b)-(a)		FY2025e (c) 通期予想(2/7予想)		増減 (b)-(c)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	4,380	164	4,400	130	+ 20	▲ 34	4,400	160	+ 0	▲ 30
 オートモーティブ	4,988	139	5,000	260	+ 12	+ 121	5,000	220	+ 0	+ 40
 電子	3,645	545	3,400	500	▲ 245	▲ 45	3,700	580	▲ 300	▲ 80
 化学品	5,936	568	6,000	490	+ 64	▲ 78	6,500	600	▲ 500	▲ 110
 ライフサイエンス	1,412	▲ 212	1,400	▲ 200	▲ 12	+ 12	1,500	▲ 100	▲ 100	▲ 100
 セラミックス・その他	791	51	600	20	▲ 191	▲ 31	700	40	▲ 100	▲ 20
消去	▲ 477	4	▲ 300	0	+ 177	▲ 4	▲ 300	0	+ 0	+ 0
連結合計	20,676	1,258	20,500	1,200	▲ 176	▲ 58	21,500	1,500	▲ 1,000	▲ 300

営業利益見通し修正 セグメント別内訳

- 化学品、電子、ライフサイエンスが期初想定を下回り、業績予想を下方修正



各セグメントの下期見通し (2025年上期比) (1)

2025年下期 見通し (vs 2025年上期)



建築ガラス

アジア

- 日本は省エネガラスへの改修需要増により、出荷は増加
- アジアは需要回復により、出荷は増加

欧米

- 南米は好調を維持
- 欧州は景気低迷の影響が継続も、価格政策の効果により収益は改善



オートモーティブ

- 当社の出荷は季節性により減少する見込み
- 北米は生産・出荷トラブルが解消
- 価格政策や事業構造の見直しを含めた取り組みを加速



電子

ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板の出荷は上期並みの見込み

電子部材

- 半導体関連部材の出荷は堅調
- オプトエレクトロニクス用部材はスマートフォン市場の需要期により出荷は増加

各セグメントの下期見通し (2025年上期比) (2)

2025年下期 見通し (vs 2025年上期)



化学品

エッセンシャルケミカルズ

- タイでの増設設備が段階的に立ち上がり、出荷は増加

パフォーマンスケミカルズ

- 半導体向け、輸送機器向けフッ素関連製品の需要増により、出荷は増加



ライフサイエンス

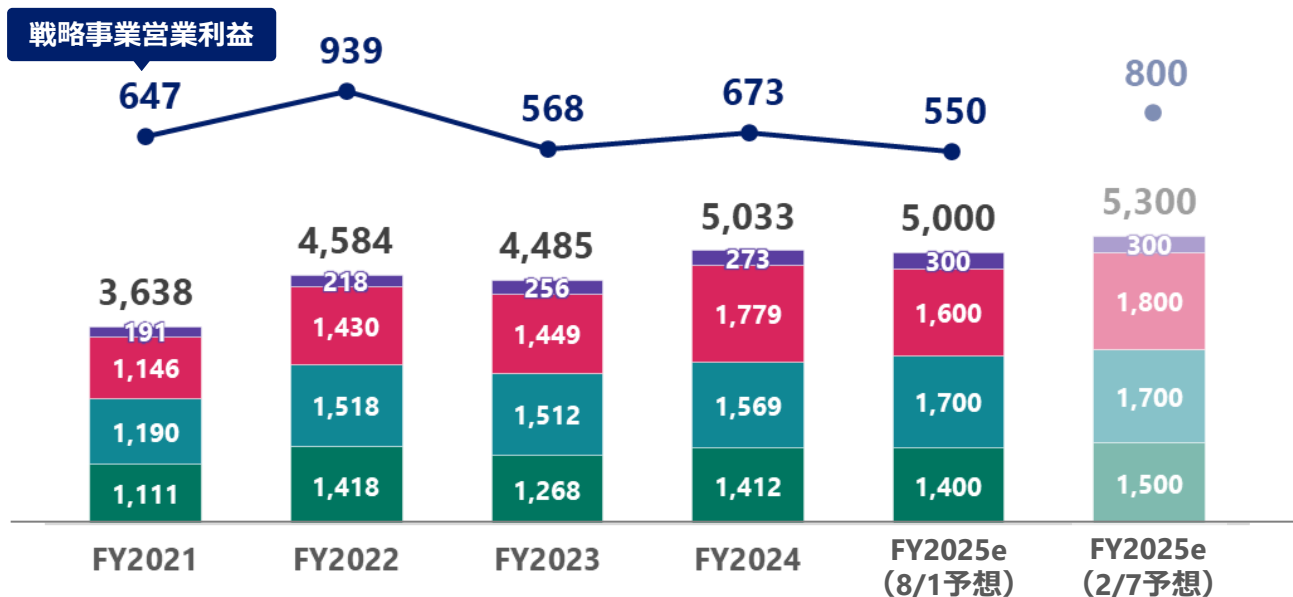
- 合成医農薬CDMOの売上は増加
- バイオ医薬品CDMOは、デンマーク拠点の増収、およびコロラド拠点撤退により赤字幅が縮小

戦略事業の売上高・営業利益見通し

- エレクトロニクスの一時的な出荷減速や、ライフサイエンスの生産不具合等により戦略事業の業績見通しを下方修正

戦略事業売上高推移

(億円)



主な製品・事業

モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- CASE向けの高付加価値品

エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材

パフォーマンスケミカルズ

- 多業界向け高性能フッ素製品

ライフサイエンス

- 合成医薬CDMO
- バイオ医薬品CDMO

設備投資額・減価償却費・研究開発費の見通し

■ 2025年2月発表時の見通しから変更なし

	FY2024	FY2025e
設備投資額	2,575	2,400
建築ガラス	338	350
オートモーティブ	355	330
電子	406	560
化学品	1,082	800
ライフサイエンス	358	330
セラミックス・その他	37	30
消去	▲ 0	0

	FY2024	FY2025e
減価償却費	1,813	1,870
建築ガラス	249	260
オートモーティブ	324	330
電子	532	540
化学品	535	570
ライフサイエンス	157	150
セラミックス・その他	18	20
消去	▲ 2	0

	FY2024	FY2025e
研究開発費	618	620

(億円)

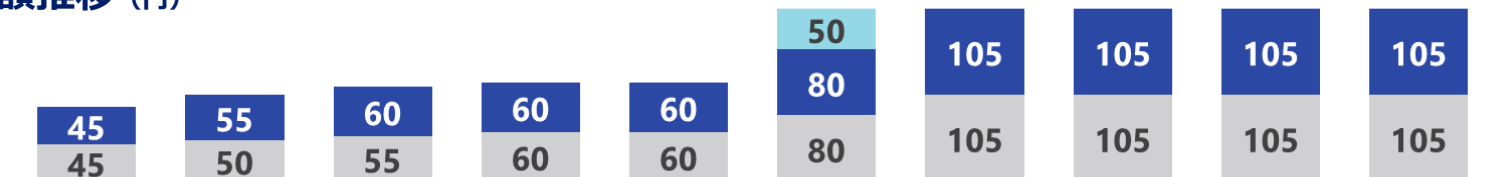
2025年 主な設備投資 案件

- 建築用ガラス製造窯修繕 (建築ガラス)
- ディスプレイ製造窯修繕 (電子)
- 電子部材関連製造設備増強 (電子)
- 東南アジア クロールアルカリ能力増強 (化学品)
- フッ素関連製品能力増強 (化学品)
- バイオ医薬品・合成医薬品CDMO能力増強 (ライフサイエンス) など

- DOE *3%程度を目安に安定配当する株主還元方針は変わらず
- 2025年の一株当たり配当金額は2024年の水準を維持予定

1株当たり配当金額推移 (円)

■ 特別配当
■ 期末配当
■ 中間配当



	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025e
自己株取得 (億円)	100	150	200	—	—	—	—	500	—	未定
連結総還元性向	65%	56%	51%	60%	81%	38%	—	144%	—	78%
連結配当性向	44%	35%	29%	60%	81%	38%	—	69%	—	78%
DOE	1.9%	2.1%	2.2%	2.3%	2.3%	3.8%	3.4%	3.2%	3.1%	3.1%
株主還元方針	総還元性向 50% 以上、機動的に自己株取得				連結配当性向 40% を目安に安定配当、機動的に自己株取得				DOE 3% 程度を目安に安定配当、自己株取得は総合的に判断	

経営課題への対応

The AGC logo is displayed in a white box on the right side of the slide. It consists of the letters "AGC" in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the "A" and the "G".

AGC株式会社

2025年8月1日

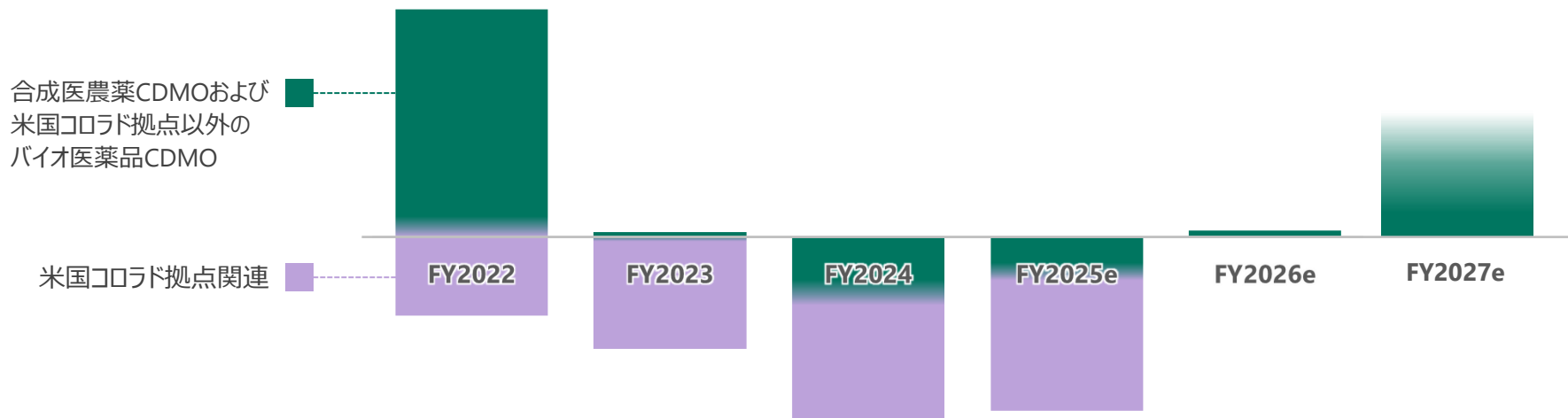
Your Dreams, Our Challenge

1. バイオ医薬品CDMOの構造改革

米国コロラド拠点から撤退

- ライフサイエンスの赤字の最大要因であるバイオ医薬品CDMOの米国コロラド拠点（ボルダー及びロングモント）から撤退し、事業譲渡の検討開始
- 2026年には当初計画どおり、ライフサイエンスセグメントの黒字化を目指す

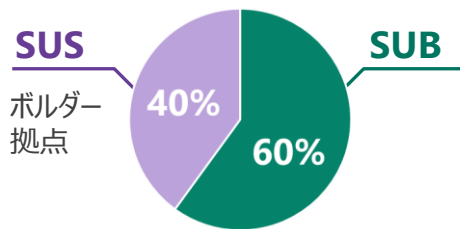
ライフサイエンスセグメントの営業利益見通し



シングルユースバッグ (SUB) に注力

- 大型SUS^{*1}(ボルダー拠点) での生産からは撤退し、強みであるSUB^{*2}での生産に注力する
- SUB技術が適した中小型薬市場は高成長の見通し

当社の SUB/SUS キャパシティ^{*3}

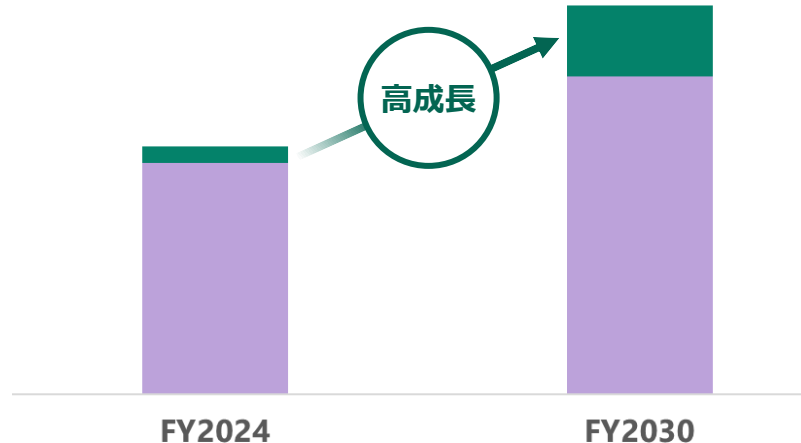


抗体医薬品CDMO市場

対象市場	開発段階		中小型薬 (希少疾患等)	大型薬 (ブロックバスター・ バイオシミラー等)
	(早期治験)	(後期治験)		
使用 タンクサイズ	500L~2,000L	2,000L~	~20,000L	>20,000L×複数基
SUB技術の最適ゾーン			SUS技術の最適ゾーン	

抗体医薬品市場成長率^{*4}

- 中小型薬
(希少疾患等)
- 大型薬
(ブロックバスター・バイオシミラー等)



ライフサイエンスは戦略事業として引き続き育成

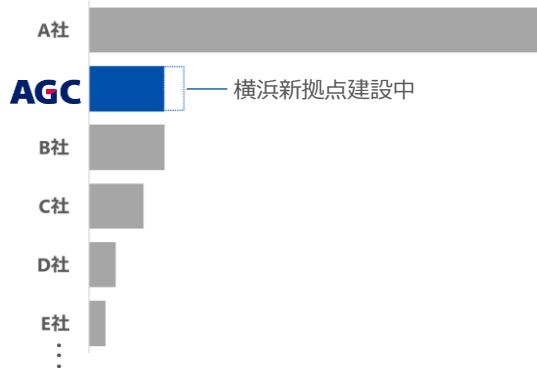
- バイオ医薬品CDMOを含むライフサイエンスは、将来の柱となる戦略事業として育成
- これまで積み上げたAGCの強みを活かし、早期に成長軌道に戻す

AGCの強み

- SUB技術のパイオニア。現在の生産能力はグローバルNo.2グループ
- 欧・米・日3極の体制を持ち、地政学リスクが高まる中で追い風
- 3極での豊富な査察実績あり

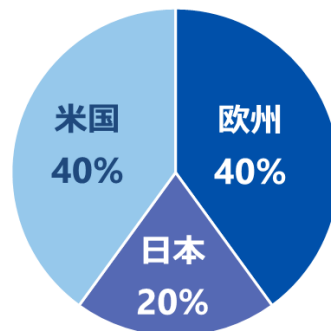
SUBプレーヤーの状況

抗体(動物細胞)：主要競合キャパシティ*1



AGCの地域別キャパシティ*2

500-5,000L SUB培養槽比率



AGCの査察実績

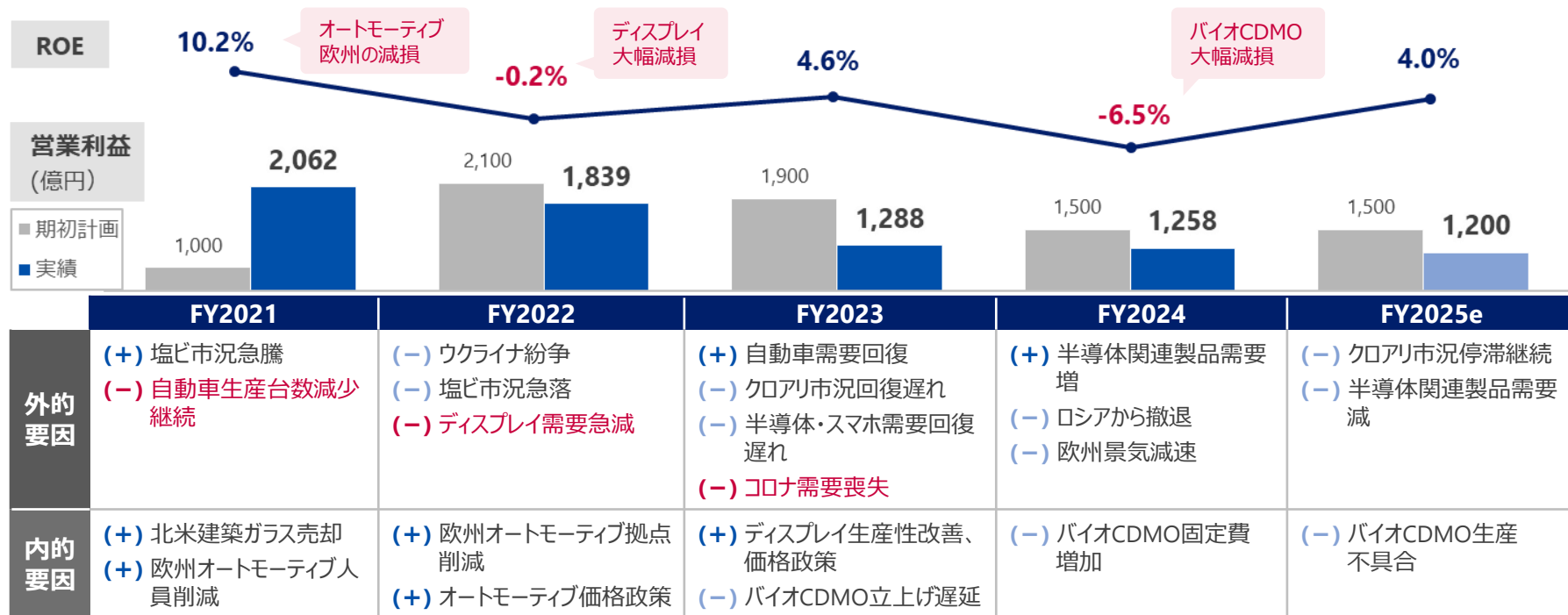
	FDA 米国 食品医薬品局	EMA 欧州 医薬品庁	PMDA 日本 医薬品医療機器 総合機構
シアトル	●	●	●
コペンハーゲン	●	●	●
ハイデルベルグ	●	●	●
ミラノ	●	●	
千葉			●

2. 全体業績の状況認識と今後の取り組み



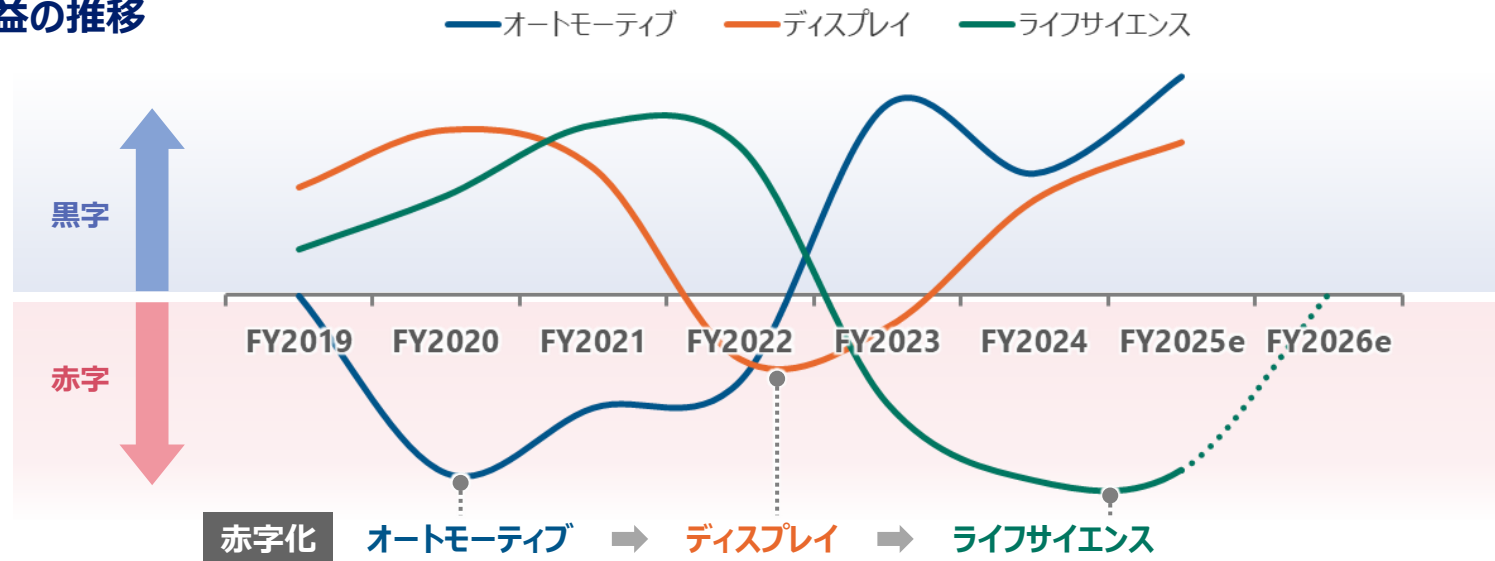
全社業績の振り返り

- 2022年以降、4期連続で営業利益は計画比下振れ、4期連続でROE5%未達の見通し
- 自助努力による回復事業がある一方で、バイオ医薬品CDMOの課題解決に苦戦



- オートモーティブ、ディスプレイは収益改善施策の着実な実行により2-3年程度で黒字化
- ライフサイエンスも、バイオ医薬品CDMOの事業構造改革とコスト削減施策により2026年黒字化を目指す

営業利益の推移



- オートモーティブ、ディスプレイは、“Volume to Value” により収益改善が確実に進捗

オートモーティブの収益改善施策

1

価格政策

製品・サービスに見合う適正な価格水準を追求

2

事業構造改革

高効率設備導入を含めた徹底的な生産性向上

3

高機能・高付加価値化

CASEの拡大等に伴い、高付加価値品比率を向上

ディスプレイの収益改善施策

1

事業構造改革

大型ディスプレイ用ガラス基板への集中による生産性向上

2

価格政策

製品・サービスに見合う適正な価格水準を追求

3

技術革新による競争力強化

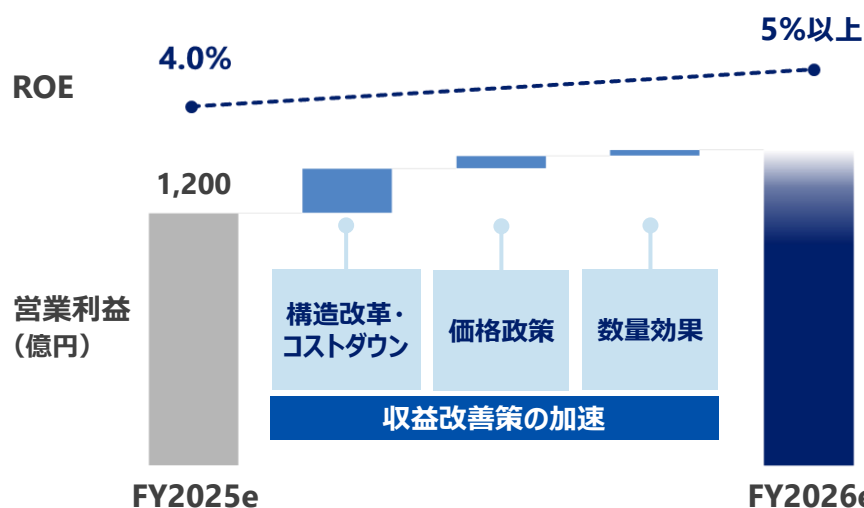
競争力ある新製品を上市

低ROCEの他の事業についても、事業環境・特性に応じた収益改善施策を実行

株主資本コストを上回る収益性の実現に向けて(1)

1

中期経営計画最終年度(2026年)にROE5%以上を必達とし、あらゆる収益改善策を加速



収益改善策の加速

構造改革・コストダウン

バイオ医薬品CDMO（コロラドからの撤退等）、グループ全体

価格政策

建築ガラス、オートモーティブ、ディスプレイ、エッセンシャルケミカルズ、パフォーマンスケミカルズ

数量効果

エッセンシャルケミカルズ（タイ増設効果）

2

- 2025年で大規模な能力拡大投資は一巡
- 新規投資は厳選

3

低ROCE事業の事業構造改革を加速し、事業ポートフォリオの変革推進



2027年以降早期にROE 8%以上の達成を目指す

AGCブランド ステートメント

易きになじまず難きにつく
人を信ずる心が人を動かす
世界に冠たる自社技術の確立を
開発成功の鍵は使命感にあり

AGCは、この創業の精神を礎に、
お客様とゆるぎない信頼関係を築きながら、
独自の素材とソリューションで、
時代のトップランナー達を支えてきました。

私たちはこれからも、互いの知見や技術を掛け合わせ、
人々の想いの先、夢の実現に挑んでいきます。

Your Dreams, Our Challenge



付属資料

営業利益に対するインパクト



為替

1%円安で
7億円*増益

*JPYに対して全ての通貨が同じ割合で動いた場合の
影響額



原油

1バレルあたり
1ドル上昇した場合
2.6億円*減益

*ヘッジ影響除く



化学品 市況

① 苛性ソーダ

国際市況が\$1上がると**\$1M**の増益

② 塩ビスブレッド

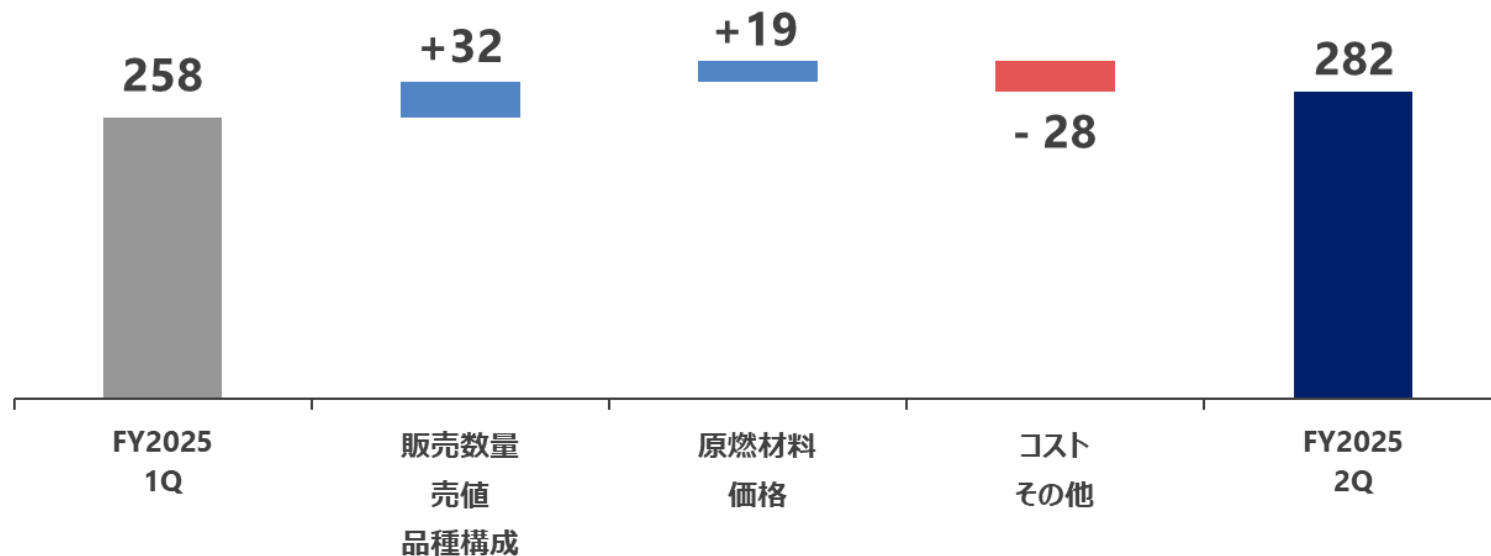
\$1上がると**\$1.2M**の増益*

*塩ビスブレッド：塩ビ市況－（エチレン市況×0.5）

営業利益増減要因分析(2Q FY2025 vs 1Q FY2025)

前四半期比 23億円増益

(億円)



地域別業績 前年同期比較

	(億円)		
	FY2024 1-2Q累計	FY2025 1-2Q累計	増減
売上高	10,152	9,955	▲ 197
日本・アジア	6,268	6,241	▲ 28
アメリカ	1,285	1,193	▲ 92
ヨーロッパ	2,598	2,521	▲ 77
営業利益	567	540	▲ 27
日本・アジア	795	805	+ 10
アメリカ	▲ 63	▲ 30	+ 33
ヨーロッパ	81	19	▲ 62
地域共通費用	▲ 245	▲ 253	▲ 8

為替差影響

▲ 109億円

連結範囲変更の影響

▲ 51億円

売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
 建築ガラス	2Q FY2025	361	70	632	4	1,068
	2Q FY2024	386	76	675	8	1,144
 オートモーティブ	2Q FY2025	623	281	364	0	1,269
	2Q FY2024	609	297	372	▲ 1	1,277
 電子	2Q FY2025	702	106	2	5	815
	2Q FY2024	734	128	2	4	868
 化学品	2Q FY2025	1,232	87	89	10	1,417
	2Q FY2024	1,312	84	64	8	1,468
 ライフサイエンス	2Q FY2025	81	47	189	8	325
	2Q FY2024	65	69	173	4	311
 セラミックス・その他	2Q FY2025	91	-	-	55	146
	2Q FY2024	116	-	4	105	224
消去	2Q FY2025	-	-	-	▲ 82	▲ 82
	2Q FY2024	-	-	-	▲ 128	▲ 128
合計	2Q FY2025	3,090	592	1,277	-	4,959
	2Q FY2024	3,222	654	1,289	-	5,165

売上高 セグメント・地域別展開 前年累計比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
	建築ガラス	1-2Q FY2025	707	144	1,243	14	2,108
		1-2Q FY2024	739	143	1,353	12	2,247
	オートモーティブ	1-2Q FY2025	1,270	559	726	1	2,557
		1-2Q FY2024	1,191	577	749	1	2,519
	電子	1-2Q FY2025	1,428	239	5	9	1,681
		1-2Q FY2024	1,430	252	4	7	1,693
	化学品	1-2Q FY2025	2,510	173	155	22	2,859
		1-2Q FY2024	2,581	166	139	19	2,904
	ライフサイエンス	1-2Q FY2025	147	78	392	18	635
		1-2Q FY2024	122	147	347	20	636
	セラミックス・その他	1-2Q FY2025	178	-	-	102	280
		1-2Q FY2024	205	-	6	213	424
	消去	1-2Q FY2025	-	-	-	▲ 166	▲ 166
		1-2Q FY2024	-	-	-	▲ 271	▲ 271
合計		1-2Q FY2025	6,241	1,193	2,521	-	9,955
		1-2Q FY2024	6,268	1,285	2,598	-	10,152

業績推移 (1)

(億円)

建築ガラス	1Q FY2024	2Q FY2024	3Q FY2024	4Q FY2024	1Q FY2025	2Q FY2025
売上高	1,103	1,144	1,050	1,083	1,040	1,068
アジア	352	386	397	444	346	361
欧米	746	750	648	632	685	703
(セグメント間)	5	8	6	6	10	4
営業利益	42	60	38	24	▲ 9	42

オートモーティブ	1Q FY2024	2Q FY2024	3Q FY2024	4Q FY2024	1Q FY2025	2Q FY2025
売上高	1,242	1,277	1,231	1,238	1,287	1,269
オートモーティブ	1,240	1,278	1,231	1,237	1,287	1,269
(セグメント間)	1	▲1	1	1	1	0
営業利益	48	58	9	25	77	74

電子	1Q FY2024	2Q FY2024	3Q FY2024	4Q FY2024	1Q FY2025	2Q FY2025
売上高	825	868	975	977	867	815
ディスプレイ	428	473	421	470	458	443
電子部材	394	391	547	503	405	367
(セグメント間)	3	4	7	4	4	5
営業利益	72	128	164	181	140	104

業績推移 (2)

(億円)

化学品	1Q FY2024	2Q FY2024	3Q FY2024	4Q FY2024	1Q FY2025	2Q FY2025
売上高	1,436	1,468	1,490	1,542	1,441	1,417
エッセンシャルケミカルズ	1,005	1,006	1,034	1,072	979	912
パフォーマンスケミカルズ	421	453	447	458	451	496
(セグメント間)	10	8	8	12	12	10
営業利益	136	140	170	121	111	115

ライフサイエンス	1Q FY2024	2Q FY2024	3Q FY2024	4Q FY2024	1Q FY2025	2Q FY2025
売上高	325	311	364	412	310	325
ライフサイエンス	309	307	354	402	300	317
(セグメント間)	16	4	10	10	10	8
営業利益	▲ 63	▲ 79	▲ 26	▲ 45	▲ 62	▲ 58

全社	1Q FY2024	2Q FY2024	3Q FY2024	4Q FY2024	1Q FY2025	2Q FY2025
売上高	4,987	5,165	5,190	5,334	4,996	4,959
営業利益	241	325	373	318	258	282

数量・価格動向

				2024				2025	
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
前年同四半期比 (YoY)									
ガラス	建築用ガラス (AGC)	日ア	数量	▲10%台半ば	+1割弱	微増	▲1桁半ば	▲1桁半ば	▲1桁半ば
			価格	+1桁半ば	▲1桁半ば	▲1桁半ば	▲1桁半ば	▲1桁半ば	▲1割弱
		欧州 ^{*2}	数量	横ばい	+1割弱	▲1桁半ば	横ばい	+1桁半ば	▲1割強
			価格	▲3割強	▲3割	▲10%台半ば	▲10%台半ば	▲1割弱	+2割強
	自動車生産台数 (S&P global 7/1データより)	日本	数量	▲14%	▲5%	▲7%	▲8%	+12%	+1%
		北米	数量	+2%	+0%	▲4%	▲4%	▲5%	▲4%
		欧州 ^{*2}	数量	▲3%	▲6%	▲6%	▲9%	▲6%	▲5%
電子	ディスプレイパネル需要 ^{*1} (Omdia社)	グローバル	面積	+10%	+5%	+0%	+11%	+10%	▲4%

^{*1} 出典：Omdia-Display Long-Term Demand Forecast Tracker – 2Q25 Pivot with 4Q24 Results

Results are not an endorsement of AGC Inc. Any reliance on these results is at the third-party's own risk.

^{*2} 東欧を除く

セグメント別 ROCE・EBITDA

(億円)

	営業利益		EBITDA*		ROCE		営業資産	
	FY2023	FY2024	FY2023	FY2024	FY2023	FY2024	FY2023	FY2024
 建築ガラス	328	164	572	413	10.6%	5.5%	3,100	3,000
 オートモーティブ	218	139	537	464	6.4%	4.2%	3,400	3,350
 電子	184	545	715	1,076	3.1%	9.2%	6,000	5,950
 化学品	648	568	1,148	1,102	10.4%	7.8%	6,200	7,250
 ライフサイエンス	▲ 124	▲ 212	15	▲ 55	▲ 4.3%	▲ 10.1%	2,900	2,100
 セラミックス・その他	33	51	55	69	16.7%	25.6%	200	200
消去	1	4	▲ 0	2	—	—	—	—
連結合計	1,288	1,258	3,041	3,071	5.9%	5.8%	21,800	21,850

		IFRS				
		20/12	21/12	22/12	23/12	24/12
売上高	百万円	1,412,306	1,697,383	2,035,874	2,019,254	2,067,603
営業利益	百万円	75,780	206,168	183,942	128,779	125,835
営業利益率	%	5.4	12.1	9.0	6.4	6.1
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	32,715	123,840	▲ 3,152	65,798	▲ 94,042
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	2.9	10.2	▲ 0.2	4.6	▲ 6.5
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	3.1	7.9	6.7	4.5	4.3
自己資本比率	%	44	49	49	49	50
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.63	0.41	0.41	0.42	0.39
営業CF / 有利子負債	倍	0.29	0.54	0.33	0.31	0.44
一株当たり当期純利益 (EPS)	円	147.84	559.11	▲ 14.22	304.73	▲ 443.71
一株当たり配当金	円/年	120	210	210	210	210
EBITDA *3	百万円	208,459	383,226	253,209	315,965	147,842
為替レート (期中平均)	円/ドル	106.82	109.80	131.43	140.56	151.58
	円/ユーロ	121.81	129.89	138.04	152.00	163.95

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

その他の財務指標についてはこちらを参照ください  https://www.agc.com/ir/pdf/data_all.pdf

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。



Your Dreams, Our Challenge